

機械科学専攻	研究分野	テキスタイルサイエンス	Lab. ID
			MS33
研究室Webサイト			
研究課題の概要			
<p>私たちが毎日身にまとう衣服が布，糸，繊維から作られているのは，よく知られているところです。繊維の集合体であるテキスタイル製品は，衣料に限らず様々な分野で見受けられます。したがって，獲得した研究成果や研究スキルを，多岐にわたって活用できます。本研究では，要求性能が年々高まっている衛生分野の繊維製品に着目して，調査研究，材料開発からヒトの感性評価を反映する製品づくり，評価システムの構築に取り組んでいます。</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>現在，博士後期課程の授業のみを担当しています。講義では，ホリスティックな体制の下で，テキスタイル製品の機能設計と製品開発に取り組むための知識やスキルを学びます。調査研究については統計学，材料開発については繊維工学，感性評価計測については人間工学や感性工学に基づいて熟考していきます。</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>研究生活の一環として，多様な分野からアプローチするために必要なことを勉強していきます。まず，文献調査，アンケート調査および実験結果について，統計学を通して解析する種類や手法を修得します。そして，テキスタイルの製造法と製造過程の原理について，金沢の伝統テキスタイルに関する施設を見学しながら理解します。さらに，自ら被験者になることによって官能検査の実験手法を獲得し，最新テキスタイルに対するヒトの感性評価と物性の関係性について考察していただきます。</p>			
教員からのメッセージ			
<p>非常に多くのモノや情報で満ちた生活を送る中で，複雑な事象の理解や完成度の高いモノづくりにいきなり望んでも，短い時間での取り組みではその成果が見えにくいです。しかし，シンプルに，ポジティブにそしてあきらめずに向き合っていると，克服すべき課題や課題解決の糸口を見つけられることがあります。その時は，ぜひ，言語化して実践してみましょう。今，試行錯誤したり，チャレンジしたりできる研究環境を作れることと思います。異分野からの多面的なアプローチや研究分野間の切り口の違いを見つけることは大変興味深いところです。</p>			
最近（過去3年間+必要に応じて）の修士論文題目			
修了年月	タイトル		
最近（過去3年間+必要に応じて）の博士論文題目			
修了年月	タイトル		
研究室連絡先メールアドレス			